

室長「意見があれば言ってほしい」

校長会で県教委が統廃合の説明 ある校長の受け止め方

9月3日、ある職場の役員から次の「校長の話」が伝わりました。

9月2日の校長会で、県教委から高校の統廃合について説明があった。使った資料は、8月7日8日の「県民の声を聴く会」で使ったものと同じ。

予定時間が伸びた(たくさんの意見が出たと考えられる)。

県教委は「意見を聴く会などでは、総論賛成各論反対の声が多い」と説明した。

県教委は「具体的な校名が出たら、また出る前から、PTAや同窓会から反対の声があがるだろうが、がんばって欲しい」と言った。

「がんばって欲しい」とは「反対の動きに与するなと言うようなこと」。

これらを受けてその校長は「対象校になった場合は、粛々とせざるを得ない」と言った。

9月10日に、本部は他の問題も含めて窪田教育企画室長と折衝しました。

室長は「県教委の考え方の説明はしたが『総論賛成、各論反対の声が多い』とは言っていない。『がんばって欲しい』などとは言っていない。むしろ『意見があれば言って欲しい』と言った」と、校長の話強く否定しました。

県：PTA会長に意見を求める

組合：9日間ではアリバイづくりだ

県：締め切りを超えても意見は受けとる



次のやりとりが続きました。

組合 7月12日の文教常任委員会で、10月に統廃合計画案を発表するとして

いたが、「県民の意見を聴く会」ではその話が消えた。統廃合計画案の10月発表はなくなったのか。

室長 何とも言えない。いずれにしても、現時点で、今年中に統廃合計画をつくる予定は変わっていない。

組合 9月6日付けで各校のPTA会長に対して意見を求めているが、締め切りが9月15日になっている。普通パブリックコメントで意見を聴く期間は1ヶ月はある。10日は極めて短くて、意見を上げる余裕が殆どない。本人に届くまでも時間がかかる。「意見を聴きました」というアリバイづくりではないか。

室長 そんなことはない。締め切りは9月15日にしているが、それを越えたら受けとらないわけではない。

組合 これまでに県に上げられている意見について、ホームページで公表されないのか。

室長 もうじき発表されるはずだ。

組合 まだ、ほとんどの人は知らない。意見を聴いてから事をすすめるべきだ。

室長 それは、いろいろ意見がありますから。



高校統廃合はストップせよ

速報 第11号 2010/09/16 発行：滋賀高教組

(増し刷りして全教職員に配布し、また掲示板に貼るなどして下さい)